



第 63 回広島県高等学校総合体育大会
～ 総合開会式 ～

平成 22 年 6 月 5 日
オークアリーナ

総合開会式の模様は、
呉市立呉高等学校の皆さんが取材してくれました。



呉三津田高校書道部によるアトラクション。
「第 63 回広島県高等学校総合体育大会」という文字が、選手の気持ちを表すように緊張感を持って完成された。

太鼓のリズムに合わせて、筆の運びがかるやかだった。書道部部长によると、「緊張したけど、やりはじめると楽しかったです。字のバランスをそろえるのが難しかったです。」そうだ。

呉高校 3 年 秋山 佑実



黒瀬高等学校太鼓部によるアトラクション。
威勢のいい声で始まった和太鼓の演奏。迫力のある太鼓の音は、選手の闘争心に火をつけた。部長によると、「団体だから、息や音を合わせるのが大変だった。8月にある全国大会も見劣りせず、恥のないように一致団結してがんばりたい。」とのこと。

呉高校 3 年 沖田 歩未



選手宣誓を誓ったのは、バスケットボール競技の男子代表呉商業高等学校3年鳥越一馬さんと、女子代表呉商業高等学校3年増田果純さん。大会への強い気持ちが、言葉にこめられていた。

呉高校 3年 秋山 佑実



華やかなダンスを披露されたのは宮原高校ダンス部の皆さん。

部長の西木さんによると「今日のために2ヵ月間練習した。楽しんで踊ることができました」とのこと。演舞のラストには、第63回を記念して「63」を全員で作り、会場を盛り上げた。

呉高校 3年 田岡 櫻



清水ヶ丘高校薙刀部によるアトラクション。

「あまり練習ができなかったけど、終わった後にはやりきった感があった。」と、部長の藤田さん。

呉高校 2年 前本 灯音



総合司会をしたのは、呉三津田高校の三宅さんと、五十川さん。

「マイクを通して、選手を応援できてよかった。普段は、人前で話すことがないので緊張したが、勉強になった。」と笑顔で語ってくれました。

呉高校 2年 前本 灯音



特選一席ポスターの部は、広島市立美鈴が丘高等学校 3年の増田幸美さんでした。

増田さんは、爽やかで疾走感あふれるイメージの作品を 2~3 週間で完成させたそうです。

自分の作品が選ばれた時は、まず驚きでいっぱいでしたが、だんだん嬉しさがこみあげてきたと語ってくれました。

呉高校 2年 前本 灯音



松林会長さんへのインタビュー。

「勉強は努力すれば結果がついてくるが、部活は自分 1 人では成果が出なく、チームプレイが大切だ。でも、勉強と部活は得られるものが違うので、両方頑張ってというエールを送りたい。」と。

呉高校 3年 沖田 歩未



特選一席バッジの部は、昨年に引き続き広島県立熊野高等学校 3年の深見友香さんでした。

深見さんは、人の影をシルエットにして、人がはばたいているようすを描いています。何度も構成を練り直し、一カ月かけてゆっくり制作したそうです。

昨年同賞に選ばれたこともあり、昨年よりもいいものをというプレッシャーを感じていたそうです。

呉高校 2年 田岡 櫻



榎田教育長さまにインタビューを行ったところ、「自分が今まで、鍛えてきたことを信じてプレーをし、悔いの残らないようにしてほしい。ミスをして、恐れず、次のプレーに集中し、目の前の試合に立ち向かう充実した試合にしてほしい。」とおっしゃっていました。

呉高校 3年 沖田 歩未